

恐竜足跡化石露頭面

平成7年にアマチュアの方が恐竜足跡化石を発見した恐竜足跡化石露頭面は、平成8年からの何年にもわたる調査で国内最大規模の面積、足跡化石数を誇る貴重な財産であることがわかりました。その後、平成11年に富山市科学博物館の藤田将人学芸員が同じ露頭面から肉食恐竜の歯の化石を発見し、足跡だけでなく歯や骨の化石も出る世界的にも貴重な露頭であることがわかりました。この露頭面は現在も調査中であり、詳しい地名は保存のため公表されていません。見学には富山市科学博物館に事前に問い合わせることが必要です。この地層は今から約1億1000万年前に堆積した手取層群の一部であり、北北西方向へ約30度強傾いています。露頭の面積は約600平方メートルで、その中に500個近くの足跡化石が認められます。

恐竜足跡化石露頭面（1996年当時）



この露頭で発見された化石例(データ提供：富山市科学博物館)



肉食恐竜の歯化石
(1本目)



肉食恐竜の歯化石
(2本目)



亀の甲羅化石



硬鱗魚の鱗化石



アンキロサウルス類足跡化石